

## 5. 1 データ構造

各インターフェースデータは以下の構造で設定します。

### 5. 1. 1 ヘッダレコード

No.	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	レコード識別子	英数	1	「1」を設定する。	
2	レコード番号	英数	7	「0000000」を設定する。	
3	情報種別	英数	2	各インターフェースの情報種別を設定する。	
4	地方公共団体コード	英数	6	LASDEC コードを設定する。	※1
5	保険者番号	英数	8	保険者番号を設定する。	※2
6	作成年月日（西暦）	英数	8	実在する作成年月日を設定する。	
7	作成時刻	英数	6	実在する作成時刻を設定する。	
8	予備	英数	—	予備領域	※3

※1 政令指定都市は市のコードを設定する。

※2 政令指定都市は行政区単位に保険者番号を設定することを検討中。  
保険者番号単位にインターフェースファイルを作成する。

※3 データレコードと同じ長さとなるように予備を設定する。

### 5. 1. 2 データレコード

No.	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	レコード識別子	英数	1	「2」を設定する。	
2	レコード番号	英数	7	「0000001」から連番を設定する。	
3	データ項目	—	—	各インターフェースデータを設定する。	※1

※1 各インターフェースデータは5. 3章以降を参照

### 5. 1. 3 トレイラレコード

No.	項目名	属性	桁数	内容	備考
1	レコード識別子	英数	1	「9」を設定する。	
2	レコード番号	英数	7	「9999999」を設定する。	
3	レコード件数	英数	7	データレコードの合計件数を設定する。	
4	予備	英数	—	予備領域	※1

※1 データレコードと同じ長さとなるように予備を設定する。

## 5. 2 データ授受周期

各インターフェースデータ授受の周期は以下の通りです。なお、下記異動情報の取り込みは、初期データのセットアップ完了後から開始します。(平成 19 年 11 月以降を予定)

表 5・2 データ授受周期

No.	周期	主な情報	データ授受方法	備考
1	日次	住民基本台帳情報 等	当日の業務終了後に一括送付	
2	月次	所得・課税情報 等	広域連合と市町村間で決定した日の業務終了後に一括送付	
3	年次	保険料情報 等	広域連合と市町村間で決定した日の業務終了後に一括送付	